

定期点検は非常に大切です。ヤマハ発電機サービス店にご用命ください。

* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

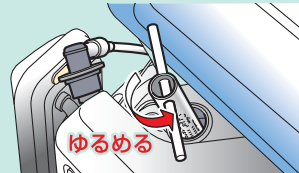
スパークプラグの点検・清掃

1 エンジン停止

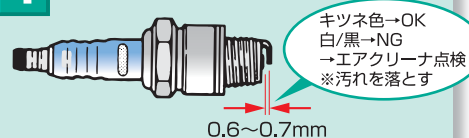
2 スパークプラグキャップを外す



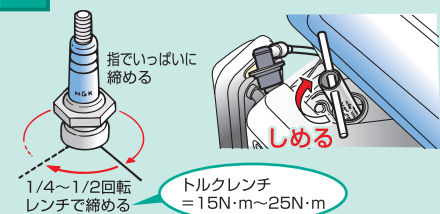
3 同梱のツールを使い、スパークプラグを外す



4 スパークプラグの点検

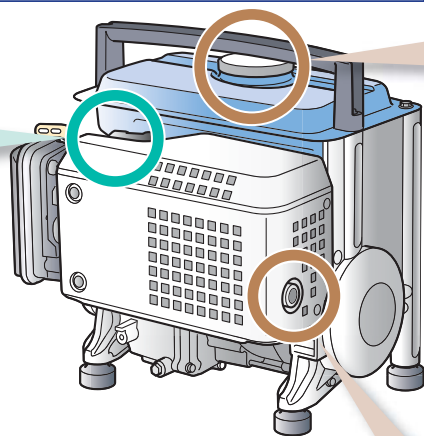


5 スパークプラグを取り付ける



6 スパークプラグキャップを取り付ける

必ず指定品 (NGK-BPR6HS) を使用してください。

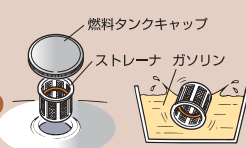


燃料タンクストレーナの清掃

1 エンジン停止

2 燃料タンクストレーナの清掃

3 ストレーナを拭き、元の位置に戻し、燃料タンクキャップを取り付ける



フューエルストレーナの清掃

1 エンジン停止

2 燃料コック OFF

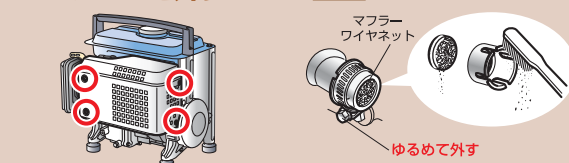
3 フューエルストレーナの清掃



マフラワイヤネットの清掃

1 スクリューを外し、カバーを外す

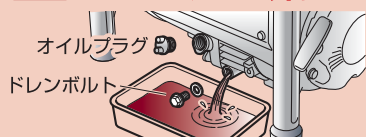
2 ブラシでこする



エンジンオイルの交換

1 2~3分暖機運転後、エンジン停止

2 オイルプラグキャップとドレンボルトを外す



3 発電機からオイルを抜き、ドレンボルトを取り付ける

4 注入口の口元まで規定量給油



エンジンオイル
容量：400mL
グレード：API分類SE級以上のエンジンオイル (SAE10W-30または10W-40)

5 オイルプラグキャップを締め付ける

エアクリーナエレメントの点検・清掃

1 エンジン停止後、エアクリーナカバーを固定しているスクリューを外す

2 エレメントを外す

3 きれいな白灯油で洗浄し、エンジンオイル等にひたす

4 余分なオイルを取り除き、エアクリーナ本体に戻す

長期保管手順

要 点 使用後、または定期運転後次回の使用が3ヶ月以降になる場合は、1~8の作業を行って保管し、次に使用する時に備えてください。排出する燃料を受け取る容器を用意してください。

* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

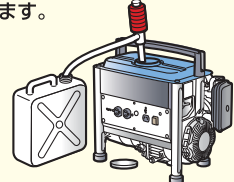
1 エンジンスイッチをSTOP(停止)の位置にしてエンジンを停止します。



2 燃料タンクキャップ、燃料タンクストレーナを外します。燃料タンク内の燃料を抜きます。

警告

- 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。
- こぼれた燃料はただちに布きれなどで完全にふき取ってください。



3 エンジンスイッチをON(運転)の位置にします。



4 燃料コックのレバーをOFF(閉)からON(開)にします。

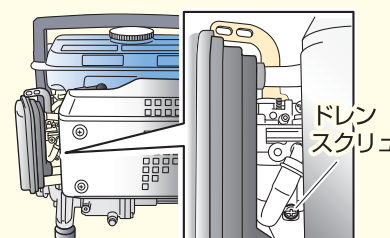


5 エンジンを始動します。数分後にエンジンは「ガス欠状態」で停止します。

要 点

- 電気器具は接続しないでください。(無負荷運転)
- 燃料タンク内の燃料残量によって「ガス欠状態」になるまでの時間は変わります。

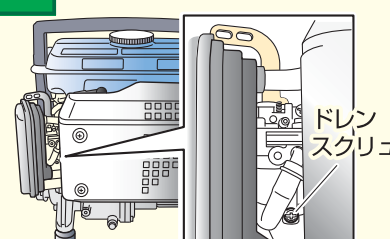
6 キャブレタのドレンスクリューをドライバ⊕でゆるめて燃料を抜きます。



警告

- こぼれた燃料はただちに布きれ等で完全にふき取ってください。

7 ドレンスクリューを締め付けます。



要 点

- キャブレタ内のガソリンを抜かずに長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。

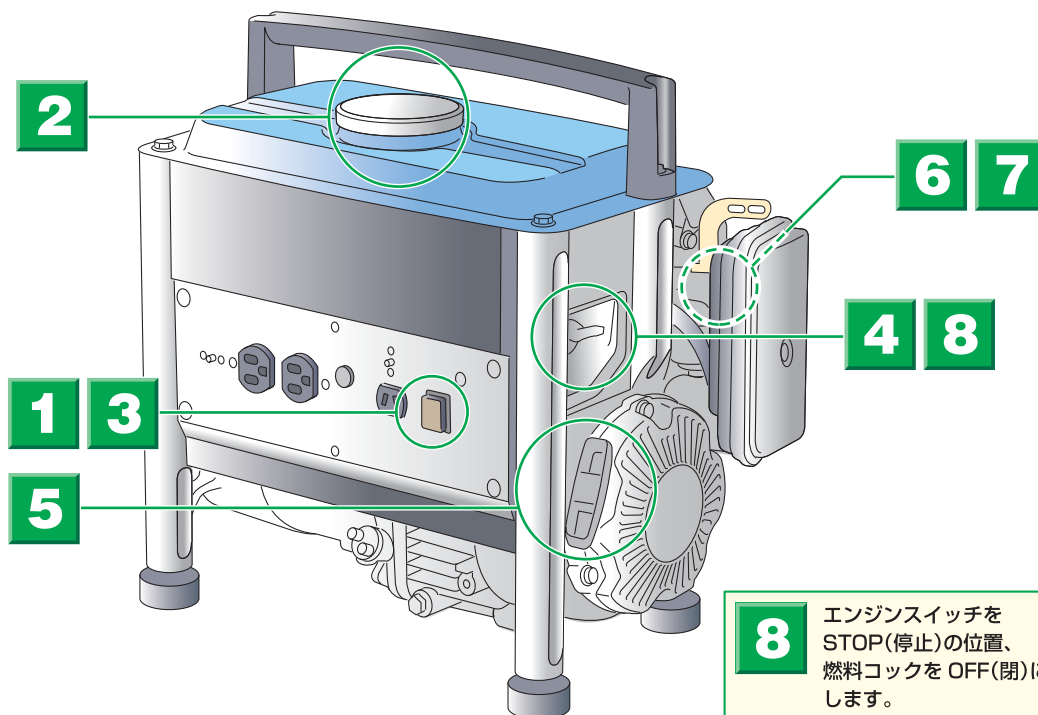
警告

燃料のガソリンは高い引火性と爆発力がありますので、次の事項を必ずお守りください。

- 燃料の抜き取りは、換気の良い場所でエンジンを停止してから行ってください。
- 燃料の抜き取り中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また静電気が発生しないように注意して行ってください。
- 燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、直ちに医者を受診してください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。

注意

- 燃料が変質してエンジンの始動が困難になる場合がありますので燃料は抜いてください。



8 エンジンスイッチをSTOP(停止)の位置、燃料コックをOFF(閉)にします。

